



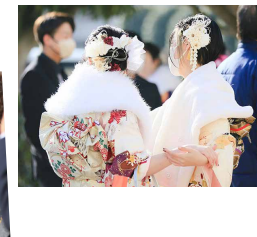
1.2.3.5.7.8.9.10_二十歳を迎え晴れやかな表情の出席者たち 4.6_恩師からの言葉に会場は盛り上がりを見せた 11_式典後、母校の中学校ごとに集合写真を撮影 12_式典であいさつをする実行委員長の宮本怜さん 13_実行委員の皆さん。(順不同)宮本怜さん、松崎美音さん、原田康平さん、越猪太護さん、上野颯馬さん、中川光さん、司会進行は芹川可奈さん(片川頼)、石本顕志朗さん(山崎)、久末桃子さん(村吉)、山坂綺姫(北宮)さんが務めた



令和5年菊池市二十歳を祝う集い ~出会いに感謝~

二十歳の誓い

The Oath of the 20 years old



人生の節目20歳、気持ち新たに

令和5年菊池市二十歳を祝う集いが1月8日、菊池市文化会館大ホールで開催されました。民法改正により成人年齢は18歳に引き下げられましたが、「成人式」から改称して従来通り実施。晴着を着た335人の若者が門出に気持ちを新たにしました。

開式前には、実行委員が作成した中学校ごとの思い出の写真をまとめたムービーを上映しました。式典では、実行委員紹介の後、委員長の宮本怜さん(薬師)があいさつ。「今日という日を胸に刻み、感謝の気持ちを忘れず、大人として自覚ある行動に努めていきましょう」と話しました。

松崎美音さん(菰入)の開式宣言の後、江頭実市長が「社会がどのように変化しようと、皆さん一人一人がゆるぎない信念と自信を持って、自身の夢や希望に向かい、悔いのない人生を切り拓いていただきたい」と式辞。中学校時代の恩師も駆けつけ、エールを送りました。

越猪太護さん(道園)、原田康平さん(深川)が「二十歳の誓い」を述べた後、上野颯馬さん(北原)の交通安全宣言、中川光さん(高野瀬)の開式宣言で幕を閉じました。



誓いの言葉

二十歳を祝う集いという人生の節目、そして大人としての門出を迎えることができたことを大変うれしく感じております。私たちの中には、自分の夢や目標に向け、努力している人がいます。また、新たな夢や目標を模索している人もいます。新型コロナウイルスの影響を受けた生活に困惑しながらも、ひたむきに前に進んできたことと思います。

立場や道はそれぞれですが、一人一人が自分の行動に胸を張り、責任を持ち、大人の一人として歩んでいきます。私たちはこれから大人として社会に飛び込むこととなります。まだまだ未熟で、周りの皆さんの支えが必要になるかと思ひます。そのときはお力添えをお願いします。菊池市の成人として恥じない大人になることを誓い、二十歳の誓いの言葉とします。

原田康平さん

自分の行動に胸を張り責任を持つ

誓いの言葉

菊池市出身の二十歳として日々の支えに感謝し、成長し続けることをここに誓います。

私はこれまで菊池市で多くの時間を過ごしてきました。小中学校では赤米作りや、伝統芸能である「菊池の御松離子御能」、清掃活動など、さまざまな活動や体験を通して菊池の自然や文化の良さに気付き、理解を深めることができました。

大学では保健体育の教員免許を取得するため、日々学業に取り組んでいます。将来、どんな人にも手を差し伸べて背中を押せるような人間になりたいと思っています。これまでの経験を通して身に付けてきた知識や能力を生かし、菊池市や日本に貢献できるような主体的な行動をとっていききたいです。もし辛いときがあれば、ここにいる仲間たちと支え合い、どんな困難も乗り越えていきます。

菊池市出身の二十歳として日々の支えに感謝し、成長し続けることをここに誓います。

仲間たちと支え合い困難を乗り越える

越猪太護さん

誓いの言葉

